

---

# スランプな絵描き

chisa

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スランプな絵描き

### 【NZコード】

N8818P

### 【作者名】

chisa

### 【あらすじ】

2011 1 / 2 chisa

色褪せた思い出をもう一度甦らせたくて  
右手でしっかりと筆を握り締めて  
頭の中でたくさん人の色を混ぜ合わせる  
あの時感じた思いが体温を伴つて  
音と共に溢れて  
それでもすぐに消えてしまつ  
証がないから

眩しい春の装いについでいくことができる  
駆け足で通り過ぎたらそこには梅雨に埋もれた暗幕の中  
何もかもを水色で染めて  
汚れたものすべて洗い流してくれたら  
そう思うけど  
毎年のように積み重ねてきたうわべだけの過去を削ぎ去りはじめて  
だけ

鮮やかな未来を描きたくて  
左手でしっかりと筆を握り締めて  
頭の中でたくさん人の色を混ぜ合わせる  
今はまだ見えない感覚に  
期待と恐怖が絡み合つていがみあう  
証がないから

コンクリートが焼ける匂いに追われるよう  
駆け足で通り過ぎたらそこには哀愁に埋もれた秋空の下  
何もかもを赤色で染めて

汚れたものすべて焼いてくれたら

そう思うけど

毎年のよつこ積み重ねてきたうわべだけの過去が煙のよつこ同じ

みるだけ

そつやつて流した涙は明日を変えることなく

灰色の雲が空を覆いつくし

吹雪がすべての動きをとめてしまう

とまってしまった今の自分を動かしたくて

両手でしっかりと筆を握り締めて

頭の中でたくさん色を混ぜ合わせる

たとえどんな色が生まれようと

今はあるがままに塗りたくるだけ

証がなくても

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8818p/>

---

スランプな絵描き

2011年1月8日20時08分発行